

# 小学校社会科教育

## 授業の質的改善の手引き（資質・能力） （詳細版）

※手引き中の記号と番号は，手引き（手立て）が示す記号と番号に対応しています。まずは，この手引き（資質・能力）を使って，児童の実態を把握してください。

児童ができていたら、チェック☑しましょう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てを振り返ってみましょう。

資質・能力	児童の姿		こんな発言や記述はありますか。	☑	振り返る手立て
知識	(1)	個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～は…だ。</li> <li>・～は…した。</li> <li>・～は, …している。</li> </ul>		⇒C①②③④⑤
	(2)	個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて(つなげて), 記述することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～は, …のために</li> <li>・～だから, …だ。</li> <li>・～すると, …になる。</li> </ul>		⇒C①②③④⑤⑪ ⑫⑬ ⇒D①⑩⑪
	(3)	個別の具体的な知識に関する内容を総合して(まとめて), 記述することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまり, ~。</li> <li>・〇つをまとめると~。</li> </ul>		⇒C①②③④⑤ ⇒D①⑧⑨⑩⑪ ⇒E①②③④
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1)	学習問題や学習課題(本時のめあて)を解決するために必要な資料を集めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題を解決するために, 今日は〇〇(視点)について調べたらよい。</li> <li>・本時のめあてを解決するために, 〇〇の資料が必要だ。</li> </ul>		⇒C①②③
	(2)	その資料がどのような資料か分かっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この資料の縦軸と横軸は〇〇を表している。</li> <li>・この資料は〇〇を表している。</li> </ul>		⇒C⑥⑦⑧
	(3)	事実を正確に読み取っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇がある。〇〇が~している。</li> <li>・増えている。減っている。</li> <li>・〇年に〇〇が起きた。</li> <li>・〇〇に比べると, 〇〇は~だ。</li> </ul>		⇒C④⑤⑥⑦⑧
	(4)	学習問題や学習課題(本時のめあて)を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇について調べるためには, この資料が必要だ。</li> </ul>		⇒B① ⇒C①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩
	(5)	目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇についてまとめるためには, 白地図が適している。</li> </ul>		⇒C⑥⑦⑧⑨⑩

思考・ 判断・ 表現	動機付け (1)	資料を基に気付きをもつことができる。	・○○がある。 ・○○が～している。	⇒A①②
	動機付け (2)	資料を基に疑問をもつことができる。	・どうしてかな？ ・おかしいな	⇒A①②③
	動機付け (3)	疑問に対して、予想を考えることができる。	・たぶん～ではないかな。 ・○○かもしれない。	⇒A⑤⑥
	動機付け (4)	気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。	・いつだろうか。 ・どこだろうか。 ・誰だろうか。 ・何をしているのだろうか。 ・どのようにしているのだろうか。 ・なぜしているのか。	⇒A④⑤⑥⑦
	動機付け (5)	キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。	・どのように（な）～だろう。 ・なぜ～（しているの）だろう。 ・どちらが（何が）～だろう。 ・どうすれば～だろう。	⇒A④⑦⑧⑨
	方向付け (1)	学習問題に対して、予想を考えることができる。	・たぶん、○○していると思う。 ・たぶん、○○しているからだと思う。 ・たぶん、○○の方が大切だと思う。 ・たぶん、○○するとよいと思う。	⇒B①
	方向付け (2)	自分が調べたいことを考えることができる。	・○○について調べたい。 ・○○について調べなければならない。	⇒B①②
	方向付け (3)	学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。	・○○については、インタビューをしなければ解決することができない。 ・○○については、実際に見学をしなければ解決することができない。 ・○○については、インターネットを使って調べてみたい。	⇒B①②③

思考・ 判断・ 表現	情報収集 (1)	本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。	・学習計画を見ると、まだ分からないことがある。 次の授業ではそれを調べたい。 ・今日は〇〇のことが分かった。でも、まだ分かっていないことがあるから、それを調べないといけない。		⇒C①②③⑪⑬
	考察・構想 (1)	調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。	・〇〇であることが分かった。このことから、〇〇と考える。		⇒C⑫ ⇒D①②③
	考察・構想 (2)	資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。	・この資料から、〇〇であることが分かった。このことから、〇〇と考える。 ・この資料を見ると、〇〇とは言えないのではないかな。		⇒D②③④⑤
	考察・構想 (3)	様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。	・「〇〇(立場)」から考えると～、メリットは～。 ・「〇〇(視点)」から考えると、デメリットは～。		⇒D④⑤⑥⑦
	考察・構想 (4)	様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。	・みんなにとって～。 ・「〇〇(視点)」の中でも、特に「〇〇(視点)」を大切に考えて～。		⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪
	まとめ (1)	これまでに学習したことを基に、自分の考えをもつことができる。	・これまでの学習から、〇〇であることが分かった。このことから、〇〇と考える。		⇒E①②③④
	まとめ (2)	友達の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。	・～は、…のために。 ・～だから、…だ。 ・つまり、～。 ・〇つをまとめると～。 ・これまでの意見をまとめると、〇〇が大切だ。		⇒E①②③④
	振り返り (1)	学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。	・〇〇の学習でも似たようなことがあった。 ・〇〇の学習で考えたように、考えられないか。 ・〇〇も〇〇と同じように、〇〇しているのではないかな。		⇒F④

<p>思考・ 判断・ 表現</p>	<p>振り返り (2)</p>	<p>新たに調べたいことを考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと調べなければいけないのではないか。</li> <li>・もっと他の方法はないかな。</li> <li>・～であるのになぜ・・・か。</li> <li>・どっちが～か。</li> <li>・本当に～だろうか。</li> <li>・もしも～だったら～。</li> <li>・このままでよいのだろうか。</li> <li>・誰がどうすれば～。</li> <li>・私たちには～。</li> <li>・なぜ、○○できないのか。</li> </ul>	<p>⇒ F ①②③</p>
<p>主体的に学 習に取り組 む態度</p>	<p>(1)</p>	<p>本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、○○を調べるとよいと思います。</li> <li>・○○を調べると、本時のめあては解決できると 思います。</li> </ul>	<p>⇒ B ①②③ ⇒ C ①②③</p>
	<p>(2)</p>	<p>今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日調べて分かったことから、学習問題の答えは○○だと思う。</li> <li>・今日調べて分かったことから、学習問題の解決のためには、○○を調べるとよいと思う。</li> </ul>	<p>⇒ B ①②③ ⇒ C ①②③⑬</p>
	<p>(3)</p>	<p>社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてだろう？</li> <li>・実際はどのなのだろう？</li> <li>・確かめてみたい。</li> <li>・調べてみたい。</li> </ul>	<p>⇒ A ①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨</p>

<p>主体的に 学習に取り 組む態 度</p>	<p>(4)</p>	<p>調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にできることはせめて～。</li> <li>・私たちにできることは～。</li> <li>・やらなければならないことは～。</li> <li>・これから私たちは～。</li> <li>・私たちがよりよい生活を営むためには(あるいは、よりよい社会をつくるためには), ○○することが必要だ。</li> <li>・どちら(どれ)が良い解決か。</li> <li>・これまで学んだことを生かして, 自分たちの考えを○○さん(あるいは, 団体や機関など)に提案しよう。</li> </ul>	<p>⇒ A ① ⇒ F ①②③④</p>
-------------------------------------	------------	--	---	---------------------------

# 小学校社会科教育

## 授業の質的改善の手引き（手立て） （詳細版）

※手引き中の記号と番号は，手引き（資質・能力）が示す記号と番号に対応しています。まずは，手引き（資質・能力）を使って，児童の実態を把握してください。

手立て		指示・発問
A①	身近なことを題材に挙げる。	・〇〇について、これまで見たり聞いたりしたことはありますか。
A②	資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。	・ここには何が隠れているでしょうか。 ・この後、どのように変わると思えますか。 ・（複数の資料を比較させて）共通する（違う）ことは何ですか。
A③	題材に対して気付きや疑問をもたせる。	・この資料からどのようなことが分かりますか。 ・「どうしてかな？」「おかしいな」と感じることはありませんか。 ・みんなが知っている〇〇とどんなところが違いますか。 ・不思議に思うことはありませんか。 ・疑問に思うのはどんなところですか。
A④	気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。	・この気付きは、板書のどの気付きの仲間でしょうか。 ・この疑問は、板書のどの疑問の仲間でしょうか。
A⑤	気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。	・どうしてそう思ったのですか。 ・どうしてそう予想したのですか。 ・どんな予想をしましたか。 ・～ですよね。～ということでもいいですね。（ゆさぶり）
A⑥	自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。	・どんな予想をしましたか。どうしてそのように考えたのか、根拠や理由も言えるといいですね。 ・相手の話を聞いて、自分と同じか違うかを相手に伝えましょう。どうしてそのように考えたのか、根拠や理由も言えるといいですね。
A⑦	気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。	・みんなの気付きや疑問を基に、どんなことを調べたいですか。 ・みんなの気付きや疑問を基に、どんなことを調べなければならないでしょうか。
A⑧	調べていきたいことを学習問題として書かせる。	・これから調べていきたいことを基に、学習問題を書きましょう。 ・これから調べなければならないことを基に、学習問題を書きましょう。
A⑨	個別にもった学習問題を全体で交流し、学級の学習問題を設定する。	・みんなが発表した学習問題の中で、何度も出てきた言葉（キーワード）は何ですか。 ・キーワードを基に、学習問題をつくりましょう。

手立て		指示・発問
B①	学習問題の解決のために何を調べるとよいのかを考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを調べたいですか。</li> <li>・どんなことを調べなければならないでしょうか。</li> <li>・予想を確かめるために、どのように調べますか。</li> <li>・どのような質問をすれば、自分(たち)の予想が確かめられそうですか。</li> </ul>
B②	調べるとよいと考えたことをグルーピングし、何から調べたらよいか考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの調べたいことの中で、どれから調べていきますか。</li> <li>・これらの調べなければならないことの中で、どれから調べていきますか。</li> </ul>
B③	学習問題の解決のために調べる方法を考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想をどのように確かめますか。</li> <li>・どのような質問をすれば、自分(たち)の予想が確かめられそうですか。</li> <li>・どのような本や資料があればよいですか。</li> <li>・どのようなキーワードで検索すればいいですか。</li> </ul>

手立て		指示・発問
C①	学習問題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでどのような学習問題を調べてきましたか。</li> <li>・これまでどのようなことを調べてきましたか。</li> <li>・これまでの学習で、どのようなことが分かりましたか。</li> </ul>
C②	調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(調べることをまとめた図を示しながら、)これまでどのようなことを調べてきましたか。</li> <li>・(調べることをまとめた図を示しながら、)これまでの学習で、どのようなことが分かりましたか。</li> </ul>
C③	学習問題と学習計画を教室に掲示し、常に振り返らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教室に掲示した学習計画表を示しながら、)これまでどのようなことを調べてきましたか。</li> <li>・(教室に掲示した学習計画表を示しながら、)これまでの学習で、どのようなことが分かりましたか。</li> </ul>
C④	調べる内容(視点)を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題(本時のめあて)を解決するために、今日はどのようなこと(視点)を調べたらよいですか。</li> <li>・学習問題を解決するために、今日はどのようなこと(視点)を調べたらよいですか。</li> </ul>
C⑤	調べる内容について、予想をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇について、どのようなことが考えられますか。</li> <li>・〇〇は、どうなっていると思いますか。</li> </ul>

C⑥	資料（写真，教科書等の文章等）を一つずつ確認し，どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何の写真か分かりますか。</li> <li>・この資料は，何という名前（タイトル）ですか。・この資料は，何の資料ですか。</li> <li>・場所はどこですか。</li> <li>・縦軸は何を表していますか。横軸は何を表していますか。</li> <li>・この資料の〇〇に目を付けると，どのようなことが分かりますか。</li> <li>・この資料が伝えたいことは何ですか。</li> </ul>
C⑦	教師が指示した資料で調べさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇の資料で調べましょう。</li> <li>・教科書の〇ページから調べましょう。</li> <li>・教科書の〇ページから〇ページに知りたいことが書いてあるようです。</li> <li>・変化した原因（理由）を教科書の本文から見つけましょう。</li> <li>・（指定した）Web ページの中で調べましょう。</li> </ul>
C⑧	立場ごとに，資料を分けて提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この資料は，〇〇（立場）に関する資料です。</li> <li>・この資料は，どの〇〇（立場）に関する資料ですか。</li> <li>・この資料はどちらの〇〇（立場）が有利になる資料ですか。</li> </ul>
C⑨	様々な資料を見せ，読み取りの視点を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇に注目した気付きですね。他に注目したこと（〇〇）はありませんか。</li> </ul>
C⑩	学習問題の解決に必要な情報であるのか考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その資料で，〇〇について解決しそうですか。</li> <li>・この資料から分かったことで，〇〇は解決しそうですか。</li> </ul>
C⑪	調べた内容をペアやグループで伝え合わせ，確認させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達はどのように考えたのでしょうか。</li> <li>・ペアで納得のいく考えになりましたか。</li> <li>・どうしたらいいのだろうか。難しいなあ。みんな（全体）で考えてみましょうか。</li> <li>・お互いの考えの同じところ（違うところ）はどこでしたか。</li> </ul>
C⑫	調べた内容について，問い返して，事実を相互に関連付けて考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇するとなぜ〇〇になるのですか。</li> <li>・なぜ，〇〇のために〇〇が必要なのでしょう。</li> <li>・〇〇に，「そうすると」で続きの文を考えましょう。</li> </ul>
C⑬	学習問題について，学習課題（本時のめあて）とのつながりを意識して記述させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を通して，どのようなことが分かりましたか。今日の「めあて」について，分かったことや自分の考えをノートに書きましょう。これまで調べたことを基に学習問題に対する考えを書きましょう。</li> </ul>

手立て		指示・発問
D①	事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、〇〇をしている(した)のでしょうか。</li> <li>・何のためにあるのですか。</li> <li>・なぜ、このようになっているのですか。</li> <li>・もし、〇〇をしなかったらどうなるのでしょうか。</li> <li>・つまり、どのような工夫と言えるのでしょうか。</li> </ul>
D②	調べた事実と考えを明確に分けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことに「このことから」と付け加えて、自分の考えを書きましょう。</li> <li>・調べたことから、どのようなことを考えましたか。</li> </ul>
D③	根拠となる資料を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を理由に言っていますか。根拠はありますか。</li> <li>・どこに書いてありますか。</li> </ul>
D④	話合いの目的・ゴールを示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇(話し合う目的)のために、今日は話し合います。</li> <li>・〇〇(話し合う内容)について、今日は話し合います。</li> <li>・話し合いが終わったら、最後に意見を書きます。</li> <li>・〇〇(話し合う内容)について話し合い、〇〇のようにまとめましょう。</li> </ul>
D⑤	考えをペアやグループで伝え合わせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達はどのように考えたのでしょうか。</li> <li>・ペアで納得のいく考えになりましたか。</li> <li>・どうしたらいいのだろうね。難しいなあ。みんな(全体)で考えてみましょうか。</li> <li>・お互いの考えの同じところ(違うところ)はどこでしたか。</li> </ul>
D⑥	視点を基に、考えをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらを重視すべきですか。</li> <li>・「〇〇(立場)」に着目した発言ですね。他の「〇〇(立場)」についてはどうですか。</li> <li>・「〇〇(視点)」から考えた発言ですね。他の「〇〇(視点)」についてはどうですか。</li> <li>・実現しそうですか。本当にできることですか。(実現可能性)</li> <li>・続けられそうですか。(持続性)</li> <li>・解決しそうですか。効果はありそうですか。(有効性)</li> <li>・すぐに効果は出そうですか。(即効性)</li> <li>・みんなの願いを実現していますか。(公益性)</li> </ul>
D⑦	視点同士を比較させ、考えをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇(立場)」と「〇〇(立場)」を比べてみると、どうですか。</li> <li>・「〇〇(視点)」と「〇〇(視点)」を比べてみると、どちらが大切だと思いますか。</li> </ul>

D⑧	話し合った内容のまとめ方を例示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの意見を聞いて、付け加えたいことや修正したいことなど、自分の考えをもう一度まとめましょう。</li> <li>・まとめ方の型を示す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「私は〇〇だと思います。なぜなら、」  「〇〇が一番大切だと思う。なぜなら、」  「〇〇は問題だと思う。なぜなら、」  「〇〇すべきだと思う。なぜなら、」  「〇〇があれば、Bでもよい。」  「～という点ではどちらの意見もあり得る。」  「私は初めは・・・けど、学習してみて・・・」  「やはり～が大切だと思った。それは・・・」  「〇〇さんの意見には納得した。」  「～ということは、・・・なので・・・です。」  「もし～だったら・・・だからです。」  「例えば～だったら・・・だからです。」</p> </div>
D⑨	キーワードを挙げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習で登場した、重要語句(キーワード)は何ですか。</li> <li>・「〇〇(キーワード)」を〇つ使って、自分の考えをまとめましょう。</li> </ul>
D⑩	まとめ方に関する判定基準を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇行以上書くことができれば、合格です。</li> <li>・「〇〇(キーワード)」を〇つ使って書くことができれば、評価〇です。</li> <li>・友達の考えを取り入れて書くことができれば、評価〇です。</li> <li>・複数の「〇〇(立場)」のことを考えて書くことができれば、評価〇です。</li> <li>・複数の「〇〇(視点)」で考えて書くことができれば、評価〇です。</li> </ul>
D⑪	掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでどのようなことを調べてきましたか。</li> <li>・これまでの学習で、どのようなことが分かりましたか。</li> </ul>

手立て		指示・発問
E①	単元全体のまとめ方を例示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き出しは～で、終末は～で終わります。</li> <li>・学習問題について、はじめにどのように予想していて、その予想がどのように変わったのか書きましょう。</li> <li>・調べて分かったことだけでなく、さらに調べなければならないことも書きましょう。</li> </ul>
E②	キーワードを挙げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で登場した、重要語句(キーワード)は何でしょう。</li> <li>・「○○(キーワード)」を○つ使って、自分の考えをまとめましょう。</li> </ul>
E③	単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○行以上書くことができれば、合格です。</li> <li>・「○○(キーワード)」を○つ使って書くことができれば、評価○です。</li> <li>・友達の考えを取り入れて書くことができれば、評価○です。</li> <li>・複数の「○○(立場)」のことを考えて書くことができれば、評価○です。</li> <li>・複数の「○○(視点)」で考えて書くことができれば、評価○です。</li> </ul>
E④	ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでどのようなことを、どのような方法で調べてきましたか。</li> <li>・これまでどのようなことを調べてきましたか。</li> <li>・これまでの学習で、どのようなことが分かりましたか。</li> </ul>

手立て		指示・発問
F①	新たな学習問題を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、○○できないのでしょうか。</li> <li>・では、どうして○○はなくなるのでしょうか。</li> <li>・さらに、どんな工夫が必要でしょうか。</li> <li>・さらに、よくするにはどうすればよいのでしょうか。</li> <li>・ゲストティーチャーの○○さんが困っていることは何でしょうか。</li> <li>・ゲストティーチャーの○○さんが困っていることを解決するにはどうすればよいのでしょうか。</li> </ul>
F②	社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは、○○を表した資料です。「どうしてかな?」「おかしいな」と感じることはありませんか。</li> <li>・これは、○○を表した資料です。不思議に思うことはありませんか。</li> <li>・これは、○○を表した資料です。疑問に思うことはありませんか。</li> </ul>
F③	ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの○○さんに、皆さんが学んだ○○について、お話をさせていただきます。○○さんには、困っていることがあるそうです。</li> </ul>

F④	学んだことと自分たちの生活（自分にできること）とをつなげて考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・そのためにあなたに何ができますか。</li><li>・これから私たちはどうすればよいでしょうか。</li><li>・どちら(どれ)がよい解決か。</li><li>・自分にできることはどんなことですか。</li><li>・今日は、これまで学んだことを生かして、自分にできること(または、やらなければならないこと)はどのようなことかを考えましょう。</li><li>・これまで学んだことを生かして、よりよい社会をつくるために、自分たちの考えを〇〇さん(あるいは、団体や機関など)に提案しよう。</li><li>・私たちがよりよい生活を営むためには(あるいは、よりよい社会をつくるためには)、どのようなことが必要なのでしょうか。</li></ul>
----	-------------------------------------	--